

発掘速報!!

富奥の古代

はじめに

野々市市の中南部にあたる^{とみおく}富奥地区は、石川県最大の河川である手取川によってつくられた^{せんじょうち}扇状地の中央に位置しています。

この地区の人々の^{いとな}営みは縄文時代から確認されていますが、本格的な開発が始まるのは古墳時代^{こふん}からです。以後、国史跡に指定されている^{すえまつはいじ}末松廃寺跡や、中世の^{はやし}林・^{とがし}富樫氏を中心とした武士団によって開発された集落跡など、富奥地区には^{れんめん}連綿と人々の営みが続いています。

今回は、近年富奥地区で行われた発掘調査の成果から、古墳時代^{こふん}～古代の遺跡にスポットライトをあてて紹介します。



手取川扇状地



中世の集落跡(三納ニシヨサ遺跡)



末松廃寺跡